

二月二十八日

十時研究室。定例ミーティング。欠席者多し。十三時迄。十三時半大隈講堂、修士論文修士設計発表会。十九時過迄。二〇時前研究室戻り、打合わせ。二一時半新大久保駅前近江屋で若松社長と打合わせ。CEMAで面白いビジネスモデルが出てきた。強気でいく根拠が確実にできた。二十三時過世田谷村戻り。

三月一日

七時半起床。八時四〇分調布B邸現場。Bさんと打合わせ。十時渡辺現場来。十一時前発。十二時半大学CEMA打合わせ他。台北の李祖原と連絡。十三時転科学士入試面接。建築学科は理工学部最大の希望者が続いているが、学科としての努力は更に必要だ。十五時八大建設西山社長来室。十六時シャープ富田氏来室。CEMA打合わせ。その後二一時半迄各種打合わせ。週刊建築、卒業設計仙台大学の為の原稿書く。頭がようやく正常に回転し始めているのが少々嬉しい。スタッフと密度の高い打合わせが出来た日は何かと体も軽くなる。

仕事を終え、研究室でしばし雑談。二十四時前世田谷村に戻る。夕食を喰べ忘れていたので遅過ぎる夕食をとる。

そういえば今夜、ドアのデザインの事で友岡さんとのやりとりがあった。ドアはドアでもライブドアの堀江貴文社長のニッポン放送買収、それに引継ぎ起きているフジテレビの第三者割り当てによる新株予約権の発行という仲々理解し難い事態は、まさに生

産の時代が情報の時代さらにはネットビジネスの速力へととって代わられつつある事を良く示しているのだが、私にとっては若松社長の言動や思考方法を身近にしているだけによりリアルなものに感じられる。

三月二日

七時三〇分起床。中村光男先生と電話で話す。久しぶりの事だ。八時二〇分発。九時前B邸現場。今日から学生二人を現場作業のアシストにつける。Bさんは自宅部分のインテリアをセルフビルドで仕上げるので、その手助けである。脚立の立て方、段取りの仕方から教える。大学の教壇に立ってレクチャーしているよりも余程良い教育になっているかも知れない。この年でやる事ではなけれどね。マ、仕方がないか。十時四〇分迄。只今、京王線車中。しかし、現場作業の脚立の立て方、配置の仕方だけを見ても、その学生の潜在力は表われてくるものだ。良い職人、つまり実際にモノを作る人間の質は、その人間が属している文化文明の総合力を表現しているのだナアと勝手な事を考えた。

十一時半研究室。10+1原稿書き始める。十五時修了。つづいて石山研ウェブサイト原稿書く。十六時修了。十七時一服する。十七時半寄生建築のスケッチ始める。面白いかも知らんナコレワ。台北の李祖原より連絡入り、あわただしくなる。二十二時過迄研究室で諸々の雑談。二十三時過世田谷村に戻る。夕食を又も忘れていて、二十四時近くにとる。これでは体にいいわけがないが、体調は良い。